

質問順 第465回 平成24年12月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会【12/3(月)1番～5番 12/4(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|----|-------|--------------------------|---|-----|
| 1 | 5 | 平出 隼仁 | (1) 10年に一度の農業振興地域見直しについて | <p>① 今回の見直しは、今後10年の町の方向性を決める大切な過程である。特にリーディングプロジェクト1「人口の維持増加」及び6「商工業の強化」を推進していくための用地の確保を、見直しの中でどのように行っていくのか。</p> <p>② 24年3月定例会の一般質問で、見直しについては町民はじめ関係する地区や団体から意見を募ると町長の答弁があったが、見直しの過程でどのように意見を集約し反映させていくのか。</p> | 町長 |
| 2 | 8 | 佐久 祐司 | (1) 第3セクターについて | <p>① 総務省は平成21年に「第3セクター等の抜本的改革等に関する指針」を地方公共団体に通知、国も県も第3セクターに関しては慎重の考えだが、町長の見解は。</p> <p>② 上記指針には、「情報開示の徹底による責任の明確化」が示されている。これについて、町長はどのように考えているか。また、3セクの責任者と、出資する側の町長が同じであることは問題ではないか。</p> <p>③ 平成20年に総務省から出された「第3セクター等の改革について」の通達には、外部専門家等による経営検討委員会を設置し事業評価を行うよう記されている。事業評価について、どのような方法を考えているか。</p> | 町長 |
| | | | (2) 富士見メガソーラー株式会社について | <p>① 事業に対する保険、メーカー保証の内容は。</p> <p>② 系統連系協議等の費用が見込み額以上になった場合、町は2億円以上の出資をするのか。また発電開始後、運転資金の不足・系統増強コストなど新たな経費が生じた場合、町は更なる出資をするのか。</p> <p>③ 事業計画書・事業収支見積書など発電事業の成果を評価するための指標は、いつ提示されるのか。また、その内容は。</p> <p>④ 発電事業開始後の情報開示は、どのような指標を使い、どの程度の間隔(月毎、年毎等)で行うか。</p> <p>⑤ 住民説明会で、NTTファシリティーズの主な利益はパネルなどのボリュームディスカウントによるものとの説明があった。建設費7億円は、NTTファシリティーズに丸投げということか。初期投資が高いとの意見が多い中、建設費抑制の努力をしたか。</p> <p>⑥ 匿名組合をつくることは、税金を徴収する立場である自治体のあり方として倫理的に問題はないか。</p> | 町長 |

質問順 第465回 平成24年12月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会【12/3(月)1番～5番 12/4(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 | |
|-------------------|-----------------------------|-------|---------------------|---|-----|----|
| 3 | 1 | 三井 新成 | (1) 消防について | ① 広域消防の組織、業務内容、業務範囲等について、町民にどの位理解されているか。 | 町長 | |
| | | | | ② 指令センターと各広域消防署・地区分団との連携において、問題になっていることはあるか。 | | |
| | | | | ③ 町内の各分団組織の強化策、増強策をどのように考えているか。 | | |
| | | | | ④ 消防団員の報酬、手当等を増額する考えは。 | | |
| | | | (2) 丸山墓地公園について | ① 本年度より町の管理運営になったが、整備状況は。 | | 町長 |
| | | | | ② 今後、更に整備を進める考えは。 | | |
| | | | | ③ 販売促進のための方策は講じているか。また、今後考えられる方策は。 | | |
| (3) 富士見オッコー祭りについて | ① オッコー祭りを行う意義を、町長はどう考えているか。 | 町長 | | | | |
| | ② 町主動でオッコー祭りを継続、実行する考えは。 | | | | | |
| 4 | 7 | 小池 博之 | (1) 来年度予算編成方針について | ① 来年度予算編成の最重点施策は。8月に町長は任期満了を迎えるが、骨格予算とするのか、それとも通年型予算で行くのか。 | 町長 | |
| | | | | ② 一般会計歳入・歳出66億円の枠内で「選択と集中」によって編成するとしているが、重点施策の優先順位は。 | | |
| | | | | ③ 景気の低迷により町税の減収が予想される中で、歳入の確保にどう取り組むか。 | | |
| | | | | ④ リーディングプロジェクトに「教育の町」を加えたが、無料塾や小中一貫英語教育の充実に積極的に予算を付ける考えは。 | | |
| | | | (2) 「教育の町」づくり推進について | ① 小学校5・6年生の英語が必修となったが、町内の小中一貫英語教育の現状は。独自のレシピ方式の導入、NLTの在り方、英語教育の低年齢化をどう考えるか。 | 教育長 | |
| | | | | ② 「無料塾」の開講は一定の評価を受けたが、方向性は定まっていない。塾の目的は、「塾にいけない生徒のため」か、「受験対策」か、「基礎学力の向上」か。 | | |
| | | | | ③ ボランティア講師に対し夏はゼロ経費でお願いしたが、継続するためには予算措置は欠かせない。交通費の支給を含め今後の方針は。 | | |
| | | | | ④ 11月からスタートした「エデュ・Cafe」を教育の町づくりの第4弾と位置づけている。学校教育と子育てに特化することなく、社会教育をどう考えるか。 | | |

質問順 第465回 平成24年12月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会【12/3(月)1番～5番 12/4(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|----|-------|-----------------------|--|-----|
| 4 | 7 | 小池 博之 | (3) 住民懇談会について | ① 10月に町内5箇所で開催した住民懇談会を、町長はどのように総括したか。 | 町長 |
| | | | | ② 懇談会の参加者は最も多い本郷小で69人、5会場合わせても253人と極端に少ない。真の町民の声を聴くためにも、開催の方法や町民へのアピールなどについて知恵を出すべきだと考えるが。 | |
| | | | (4) 災害に強いまちづくりについて | ① 大震災発生時、安否確認ができない約3,000人(1,500世帯)の町民に対し、行政として安全・安心をどう確保するのか。 | 町長 |
| | | | | ② 安否確認ができない世帯は区未加入であり、この状態をいつまでも放置することは行政執行上の怠慢とされる。来年度予算編成では「災害に強いまちづくり」が重点施策の一つに盛り込まれたが、具体的にどのように取り組むのか。 | |
| 5 | 9 | 加々見保樹 | (1) 道州制について | ① 町では、道州制を研究・検討したことがあるか。 | 町長 |
| | | | | ② 道州制のメリット・デメリットについて、どのように考えているか。 | |
| | | | | ③ 今後、道州制に対してどのようなスタンスで臨むつもりか。 | |
| | | | | ④ 仮に道州制が決定した場合、長野県の区割りはどの地域がベストと考えるか。 | |
| | | | | ⑤ 道州制を視野に入れた近隣の市町村合併を再考する動きは、出る見込みか。 | |
| | | | (2) 地方公共団体の公会計見直しについて | ① 総務省では現状の現金主義から、発生主義・複式簿記の企業会計へ移行を指導していると聞が、富士見町では企業会計への移行を予定しているか。 | 町長 |
| | | | | ② 企業会計に移行することで、どのような効果が期待できると考えているか。 | |
| | | | | ③ 企業会計移行のための条件整備に着手しているか。 | |
| | | | | ④ 一番問題となるであろう、過去に取得・整備済みの固定資産の算定方法についての考えは。また、固定資産台帳は整備されているか。 | |
| | | | | ⑤ 最終的には一般会計、特別会計、公営企業会計を連結させるつもりか。 | |
| | | | (3) 住民参加の町政運営について | ① 「町長への手紙」はどのように生かされているか。また、内容公表の考えは。 | 町長 |
| | | | | ② 3月議会で予算の概要を町民にわかりやすく説明する手立てについて一般質問したが、広報の編集に町長自ら関与するとの答弁であった。わかりやすい内容になったと評価しているか。 | |
| | | | | ③ 行政に対する無関心層への啓発方法を考えているか。 | |

質問順 第465回 平成24年12月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会【12/3(月)1番～5番 12/4(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|--|---|-------|---------------------------|--|-----|
| 6 | 10 | 名取 武一 | (1) 介護保険制度の拡充について | ① 自営業者、給与生活者など働きながら要介護者を介護している場合、仕事の都合上利用限度額を超え、多額の自己負担をしている場合がある。この方々を助ける手立てはないか。 | 町長 |
| | | | (2) 自然エネルギーの導入について | ① 自然エネルギー自給率100%を目指す上で、太陽光発電だけに依存することに特化するのではなく、間伐材を利用した木質バイオマス、小水力発電など、町内の潜在力を探求し、その利活用を考えていくべきではないか。 | 町長 |
| | | | | ② 町の自然エネルギーの潜在力を探求し、それを具体化する上でも、「新エネルギー推進協議会」の存在は不可欠。「新エネルギービジョン」を実現する上でも、「推進協議会」の再開を。 | |
| | | | (3) 水道施設の耐震化について | ① 町内の水道施設の耐震化はどこまで進んでいるか。 | 町長 |
| | | | | ② 国の「水道水源開発等施設整備費国庫補助金」を利用して、耐震化の更なる促進ができないか。 | |
| (4) TPP協定について | ① 野田首相はTPP協定参加を衆院選公約に掲げようとしている。TPPに参加すれば富士見町の農業は壊滅する。町長の考えは。 ② 農協と協力してTPP参加反対行動をとる考えは。 | 町長 | | | |
| 7 | 4 | 小林 市子 | (1) 後期基本計画について | ① まちづくり、地域づくりをどのように進めようとしているか。 | 町長 |
| | | | | ② 総務省では、地域づくりのための「地域おこし協力隊」の活用支援を行っている。町でも活用を考えてはどうか。 | |
| | | | | ③ 住民と大学との連携による集落点検を町がコーディネートし、地域からの活動を広げる考えは。 | |
| | | | (2) 町の計画的な土地利用について | ① 都市計画道路の見直しと共に、計画的な土地利用や都市計画の新たな指針について検討を進める考えは。 | 町長 |
| | | | | ② 構造改善が行われなかった農地の荒廃地化が拡大し、個人では手が付けられない状況を迎えている。都市計画の全体構想の中で、今後に向けた整備計画を策定する考えは。 | |
| | | | (3) リース物品及び少額購入物品の管理等について | ① どのような判断基準でリースによる物品を利用し、経費の節減を図っているのか。 | 町長 |
| ② リース物品のメンテナンスは行っているか。また、リース終了後の扱いは。 | | | | | |
| ③ 町の財産台帳に記載されない20万円未満の物品等は、データで管理するシステムになっているのか。 | | | | | |

質問順 第465回 平成24年12月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会【12/3(月)1番～5番 12/4(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|-------------------------|---|-------|----------------------------|--|-----|
| 8 | 6 | 宮下 伸悟 | (1) インターネットでの情報発信について | ① フェイスブック等、町のSNS活用における今後の方向性は。 | 町長 |
| | | | | ② フェイスブックを活用した学校・保育園の災害時安否情報の発信において、情報の受け手となる保護者の利用促進をどう図るか。 | |
| | | | | ③ 町からの情報発信においてSNSの利活用を進めるために、現場レベルでのスキルアップのスキームをどのように考えているか。 | |
| | | | | ④ 町ホームページがスマートフォンをはじめ携帯電話からのアクセスに対応していない。企業だけでなく行政でもホームページのスマートフォン対応を行う動きが出てきている中、住民の間に情報アクセスの格差が起こらないよう町としてどう対応するか。 | |
| | | | (2) 富士見パノラマリゾート経営強化の成果について | ① 強化計画開始以降3年間のグリーンシーズン営業成績の総括は。 | 町長 |
| | | | | ② 3カ年の強化計画がグリーンシーズンの誘客にどの程度の成果をもたらしたか。 | |
| (3) 教育現場におけるマンパワー確保について | ① 入学予定者数の減少により、富士見中学校では来年度の教員定数が1減となる。県から加配されている2名についても来年度は不透明な状況であり、マンパワーの低下によって学校現場にどのような影響が懸念されると考えるか。 | 教育長 | | | |
| | ② 現状、町でも中学校に4名の教員を加配しているが、来年度以降マンパワー低下が懸念される中、富士見町教育のきめ細かな生徒対応を維持するためには、町のさらなるバックアップが必要ではないか。 | 町長 | | | |
| 9 | 2 | 小池 勇 | (1) 発電事業をうけての財政運営基本方針について | ① 残された土地公問題の処理方針は。 | 町長 |
| | | | | ② 発電事業の「果実」をどう分配する考えか。 | |
| | | | (2) アンテナショップ「ポンテ」について | ① これまでの総括は。 | 町長 |
| | | | | ② 今後の取り組みについて、どのように考えているか。 | |

質問順 第465回 平成24年12月定例会 一般質問通告一覧表 富士見町議会【12/3(月)1番～5番 12/4(火)6番～10番】

| 番号 | 議席 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|----|-------|-------------------------|---|-----|
| 10 | 3 | 五味 平一 | (1) 町の主力産業である農業について | ① 農業は町の主力産業であるという位置づけから、広義的な今後のさらなる活性化施策は。 | 町長 |
| | | | | ② 持続可能な地域農業の展開について、どのように考えているか。 | |
| | | | | ③ 農林水産省では6次産業化を推進している。当町でも地域の農業資源を活用し取り組む考えは。 | |
| | | | | ④ 町として農産物直売所を設置する考えは。 | |
| | | | | ⑤ 新規就農支援パッケージの4点(農地・住居・里親・施設)は、それぞれに対応ができパッケージとして機能しているか。 | |
| | | | | ⑥ 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)について、町長の考えは。 | |
| | | | (2) 住民懇談会の総括と来年度の施策について | ① 富士見メガソーラー株式会社について、町民の意見は。 | 町長 |
| | | | | ② 教育の町づくりについて、町民の意見は。 | |
| | | | | ③ 落合地区会場で出された「富士見町の均衡ある発展」についての意見を、どう考えるか。 | |
| | | | | ④ 住民懇談会の総括から、来年度に向けどのような施策を考えているか。特に主要課題とする点は。 | |
| | | | (3) 富士見町職員提案規程について | ① この提案規程の趣旨は。 | 町長 |
| | | | | ② 平成20年度から平成24年度10月までの各年の提案件数は。 | |
| | | | | ③ 過去約5年間での提案採用件数及び褒賞件数は。 | |
| | | | | ④ 提案の推進は、誰がどのように行っているか。 | |
| | | | | ⑤ 町長は、今後の提案推進をどのように考えているか。 | |